



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより



No. 40

(令和6年5月発行)

新年度のごあいさつ

院長 木村 啓二



令和6年は元日の能登半島地震で始まり波瀾の幕開けになりましたが、皆様におかれましてはご健勝に日々地域医療に貢献されていることとお慶び申し上げます。また、日頃より独立行政法人国立病院機構盛岡医療センターの運営につきまして、ご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

当院は昨年度も大きな医療事故や虐待事案はなく、令和6年2～3月にかけてCOVID-19の院内クラスターが連続して2病棟で起こり一時的に通常医療に影響が出た以外は比較的順調に地域医療に貢献することができたと考えています。昨年4月には循環器内科医1名、小児科医1名が赴任し医療提供体制が強化されました。そのため、次ページのように救急患者の受け入れが増加しており、令和2年からのCOVID-19パンデミック以来ぎりぎり維持されている盛岡地区の救急医療体制の一翼を担うことができています。さらに、本年秋までには当院の10：1看護体制の急性期病棟を今回の診療報酬改定で新設される地域包括医療病棟に変更し、高齢者の救急患者により良い療養環境を提供する計画を立てています。呼吸器・循環器内科・整形外科・小児科領域の救急患者さんがいらっしゃれば、是非当院の地域包括医療病棟の利用をご検討下さい。よろしくお願いいたします。

ここ数年当院では薬剤師、システムエンジニア、臨床工学技士、管理栄養士各1名、言語聴覚士2名の増員が実現し、さらに本年4月からは放射線技師とMSW(医療ソーシャルワーカー)各1名が新たにスタッフとして加わりました。多職種連携による当院のチーム医療が少しずつレベルアップし、皆様から紹介頂いた患者さんに対してより良い医療を提供できる人的体制が充実しつつあります。

(次ページへ続く)

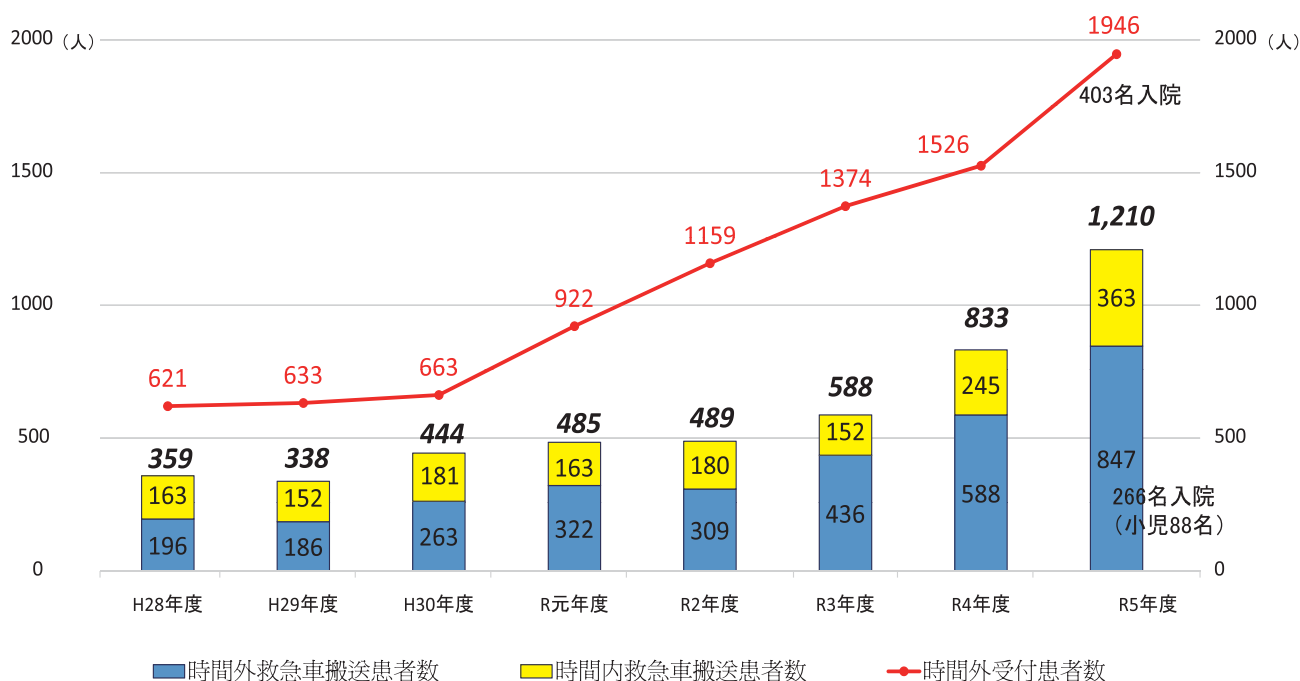
- 病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する
- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

また、循環器内科ではこの1月から右心カテーテル検査を開始しました。県内では手薄な肺高血圧症診療の診断治療に貢献できると考えております。原発性肺高血圧症や心臓弁膜症などの循環器疾患のみならず、二次性肺高血圧症を引き起こす呼吸器疾患、膠原病に関しては従来から専門医がおりますので、肺高血圧症が疑われる患者さんを紹介頂ければ幸いです。

さて、令和2年2月以降日本全国で猛威をふるっているCOVID-19はなかなか終息が見通せず、昨年5月の5類移行後もオミクロン株の脅威が続いています。当院は引き続き平日午後に発熱外来を運用して患者さんの診断治療の要望に応えと共、コロナユニット4床を稼働し成人ならびに小児の入院治療を継続しています。コロナ診療でお困りの際には当院地域連携室にご連絡下さい。

今年度も当院は通常医療（呼吸器内科・リウマチ内科・循環器内科・神経内科・整形外科・小児アレルギー・重症心身障害者ならびに一般障害者の長期療養など）において盛岡市医療圏（特に西北部）中心に病診連携、病病連携、病院・介護福祉連携を大切に、患者さんや地域から信頼され、求められる医療を提供する努力を継続してゆきたいと考えております。本年度も皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

図：救急車搬送患者数および時間外受付患者数の年次推移



新年度地域医療連携室の体制について

皆様には日頃より当院の地域医療連携へのご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度の診療報酬改定では地域包括ケアシステムの深化・推進として、医療・介護・障害福祉の連携強化が重視される形になっております。当院においても、より一層地域医療・介護・福祉との連携を強化していきたいと思っております。

そのために、今年度新たに増員された医療ソーシャルワーカーと共に地域の病院、クリニック、施設の方々との連絡を密にして、患者様が安心して治療・療養できるよう支援していきたいと思っております。今後も何卒宜しくお願い致します。



着任のご挨拶

令和6年4月から新規採用になり、地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーとして勤務しております。患者・ご家族に寄り添うことを大切に、高齢者施設の相談員の経験を活かしながら、内外部と連携し、支援を行ってまいります。医療ソーシャルワーカーとしての業務は初めてで未熟な点が多いとは思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

医療社会事業専門員 内村 翔

「第8回地域医療懇談会」のお知らせ

管理課長 齊藤 晃

開催日時：令和6年7月25日（木） 19:00～20:00

開催場所：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
4階「メトロホール西」

意見交換会：4階「メトロホール東」 20:00～21:00

昨年は4年ぶりに地域医療懇談会を開催いたしましたが、本年も7月に予定させて頂きました。

開催の詳細につきましては追ってご案内いたしますが、当院医師・地域医療連携室からの講演と質疑応答を予定しておりますので、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。講演会後は意見交換会の場も設定いたしますので、地域の医療機関等の方々との飲食を共にしながらお話しをさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和6年5月1日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利	木村啓二	高原政利	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
	午後	新患・再来 (急患のみ)	山田博之	只左一也	只左一也	木村啓二	
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	高橋 信	高橋 信	肥田親彦	☆東北大学 循環器内科医師
	午後	新患・再来	—	—	—	—	【パースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00～15:00)
糖尿病内科	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後			☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—		
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2・4週)
神経内科	午後	新患・再来	—	小原智子	—	村田隆彦	【新患のみ】 (第2・4週)
リウマチ科	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行 ☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師 (第1・3・5週)	—	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
整形外科	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は再来のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は再来のみの受付になります。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
	午後	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
			佐々木朋子	増本佳泰			

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>

